

## ポール・A・ボーフェ准教授への献辞

総合管理学部長 澤田道夫

ボーフェ准教授は米国ミシシッピ州グリーンヴィルのご出身で、1986年モンタナ大学大学院語学研究科を修了され Master of Arts (フランス語) の学位を取られています。その後1991年に本学の前身である熊本女子大学に着任され、1994年4月から熊本県立大学総合管理学部の講師として、2000年4月からは助教授、准教授として本学学生の英語教育にご尽力いただきました。先生が本学に着任されて以降、熊本女子大学から熊本県立大学に名称が変更され、総合管理学部が設置されましたが、その中で30年の長きにわたり教鞭をとられ学生の教育に力を尽くしていただいたこと、感謝に堪えません。本学部を巣立った学生が地域社会で活躍するようになった今日に至るまで、ボーフェ先生が果たされた役割は誠に顕著なものといえます。

ボーフェ先生のご専門は応用言語学、コンピュータ支援言語教育および語学教師育成です。特にコンピュータを使用した言語教育については、担当される英語Ⅰ・Ⅱ、英語Ⅴ・Ⅵにおいてブログを利用した学習環境の提供を行われているなど、学生の学びを深める取組を行われてきました。また、Diigo や LinkedIn などのウェブサービスを活用して語学教育に有益な情報を内外に幅広く提供されています。先生とのコミュニケーションやご指導を受けるため、多くの学生が先生の研究室のドアを叩くところを日々拝見してきたところです。

また、ボーフェ先生は学生のみならず語学教師の育成にもご尽力してこられました。語学教師の支援を行う全国組織である全国語学教育学会 (JALT) においては語学教育の普及に熱心に努められ、南九州支部のメンバーとして語学教師の養成や英語論文作成のアドバイザーを務めておられます。更に、英語授業学研究会 (PIGATE) の顧問として英語教師の教育力向上に取り組んでこられました。

学内業務においても、これまで総合管理学部の就職対策委員や国際交流委員をお務めになられるとともに、全学において外国語教育の検討を行うなど、様々な役割を果たされてきました。先生が講義を担当された英語科目については、新年度から設置される共通教育センターのもとでより一層の充実がはかれることとなります。先生が本学において永年築かれてきた英語教育の土台をもとにして、更なる発展が成し遂げられるものと期待しています。

最後になりますが、熊本女子大学以来30年の間、本学学生の教育と学部の発展のためにご尽力

いただいたボーフェ先生に学部を代表して感謝の意を表するとともに、ご退職後のご健勝と更なるご活躍を切に祈念する次第です。ボーフェ先生、長い間本当に御世話になりました。そして、お疲れ様でした。